

令和4年(2022年) 9月15日(木) 13964号



## 株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL: 06-6353-7831  
 FAX: 06-6353-7832  
 MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp  
 WEB: https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



### 鉛建値は3,000円引き上げの34万2,000円 9月の月内建値平均は33万9,900円

三菱マテリアルは14日、電気鉛建値を3,000円引き上げの34万2,000円にすると発表、同日より実施した。9月の月内建値平均は33万9,900円。

14日に入電した直近のLME鉛相場前場売値は1,956.00ドル。14日の東京市場の米ドルTTSレートは145.49円。

この値で換算した採算価格は、28万4,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万7,500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

#### 2022年

4月	357(1)	360(11)	375(19)	372(25)	平均364.5
5月	357(2)	339(11)	327(19)		平均337.1
6月	342(1)	357(8)	336(16)		平均343.1
7月	324(1)	333(8)	330(14)	336(25)	平均330.6
8月	336(1)	345(8)	339(24)		平均340.7
9月	336(1)	339(8)	342(14)		平均339.9

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



### 鉱工業出荷・総供給7月 前月比プラス1.6% 2か月連続上昇 部材不足の影響緩和

#### 経済産業省

経済産業省はこのほど、2022年7月の鉱工業出荷内訳・総供給の概要を発表した。出荷は指数95.2 (100=2015年、季節調整済)、前月比プラス1.6%と2か月連続の上昇となった。中国でのロックダウン解除などを受けて6月は上昇に転じ、7月は部材供給不足が緩和したことなどから輸送機械工業を中心に上昇。財別では、内需(国内向け)、外需(輸出向け)とも資本財、耐久消費財が上昇に寄与した。

内需は前月比1.2%と2か月連続上昇し、外需も同2.4%と2か月連続の上昇となった。出荷水準は、内需が91.3、外需が108.8。

新型コロナが拡大する直前の2020年1月の指数値はともに97.1だったが、外需は以前の水準を超え、内需はいまだ弱い回復の動きが続いている。

業種別では、12業種中2業種が前月比で上昇。輸送機械工業が同11.4%と大きく上昇し、なかでも乗用車、船舶・同機関などが上昇した。次いで汎用・業務用機械工業が寄与し、なかでもボイラ・原動機、運搬装置などが上昇した。他の10業種は低下となり、内需は一部業種が牽引している状況にある。

外需の業種別では、12業種中6業種で前月上昇。上昇寄与が大きかったのは生産用機械工業で、なかでも半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置、その他の生産用機械等が上昇した。次いで寄与したのは輸送機械工業で、なかでも乗用車、航空機部品などが上昇した。

財別分類では、内需の上昇寄与が大きかったのは資本財で、次いで耐久消費財が上昇し、生産財、建設財、非耐久消費財は低下した。(次頁へ)

社会の発展とその未来に  
 テクノロジーで対応する

# KYOWA

地球にも、人にもやさしいKYOWAのエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>

 協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番地

TEL (0729) 91-0818(代) FAX (0729) 91-4470

外需でも同様に資本財、耐久消費財が上昇し、非耐久消費財、生産財、建設財が低下した。

外需では、韓国を除くすべての主要地域向けで上昇した。寄与がもっとも大きいのは欧州向けで、輸送機械工業の大幅上昇などにより2か月連続で上昇。次いで中国向けも、ロックダウンの解除などを受けて輸送機械工業が増加し、2か月連続の上昇となった。全般的に、サプライチェーン断絶に回復が見られたため、輸送機械工業がほとんどの主要地域向けに同2桁上昇となり、輸出を大きく牽引している。

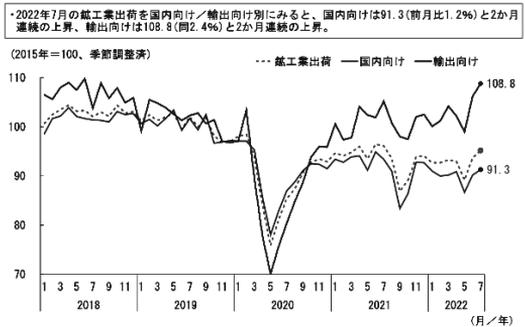
一方、輸入は季節調整済指数で105.7、同マイナス3.6%と2か月ぶりの低下。業種別では、13業種中7業種が同低下、6業種が上昇となり、鉱業、電子部品・デバイス工業などが低下に寄与した。

国産は前月比1.2%と2か月連続の上昇となり、鉱工業総供給は前月比0.2%と2か月連続の上昇となった。

N Y 連銀が米国内・国際的なサプライチェーンのひっ迫度や混乱度をみるため作成している「グローバルサプライチェーン圧力指数」をみても7月は3か月連

続で改善しており、日本の出荷の先行きも、経済活動の正常化に伴い回復が期待されるという。しかし、サプライチェーンの圧力ははまだ歴史的に高水準にとどまっており、コロナの拡大や世界的半導体不足なども十分注意する必要があるとしている。

国内向け/輸出向け出荷の動向



国内向け/輸出向け出荷の動向

## 金属資源情報

### 南米・鉱業投資環境アンケート調査

#### エクアドル 環境良好3位に JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)は、BNamericas社が行った南米鉱業投資環境アンケート調査・報告(「Mining Survey 2022」)の概要を公表している。

調査はDeloitte社と共同で5月-6月に実施され、S&P Global Market Intelligence社が発表した「WORLD EXPLORATION TRENDS」の翻訳を、JEITAサンティアゴ事務所の兵士大輔氏がレポートした。その抜粋・要約を紹介する。

#### 調査内容

22年5月30日~6月21日にかけて、鉱山会社などを対象に22年鉱業の投資環境に関するアンケート調査を実施し、207件の回答を得た。

回答者が活動する国別割合(重複を含む)は、ペルー51%、チリ43%、ブラジル41%、コロンビア25%、メキシコ23%、アルゼンチン20%、エクアドル15%、ボリビア9%、パナマ8%、その他5%となっている。

#### 新規プロジェクトへの投資計画

今後12か月の新規プロジェクトの計画と承認は、「加速する」が全体の34%で前年の45%から減少した。21年は新型コロナウイルスの影響からの回復傾向にあり、新規プロジェクトへの投資を促進するという回答が多かった。

また、南米の政権交代などによる政情不安、ロシ

ア・ウクライナ紛争、中国経済の鈍化、インフレの進行、先進国の不況といった世界的な現象が新規プロジェクトへの投資を鈍化させている。

#### ESGへの投資計画

鉱業にとって、ESG(環境・社会・ガバナンス)の問題はますます注目を集めている。ESGに関する調査の結果、全体の62%が企業戦略としてESGを強化する計画であるとしている。

また鉱山会社では、全体の71%が企業戦略としてESGを強化するとしている。

銀行や投資ファンドは、人権、生物多様性、気候変動リスク、エネルギー転換などあらゆる分野でESGの課題について注視していることから、今後もESGへの取り組みが加速すると考えられる。

#### 脱炭素化及びデジタルトランスフォーメーションへの投資計画

脱炭素化への投資について、「増加させる」が前年から増加し全体の47%となったことから、脱炭素化への投資も注目を集めている。他方「変更なし」と回答した各社の多くは、現在ケーススタディ中で数年後には投資を増加させる可能性がある。

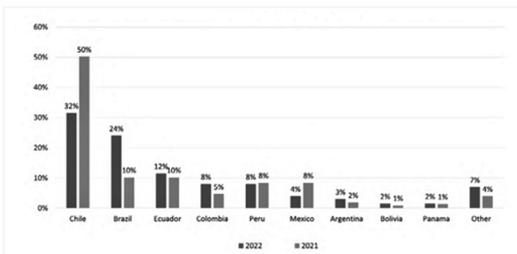
パンデミックが一つの発端となり、鉱山操業の自動化やリモートオペレーション(リモート化)などが促進された。その結果、DX(デジタルトランスフォーメーション、デジタル化)への投資について、21年は「増加させる」が62%に増加した(2020年は同37%)。22年は、21年に引き続きデジタル化への投資を増加させる傾向が認められた(同65%)。

理由としては、操業の最適化に注目が集まっていること、またパンデミック以降リモート化が促進されていることが挙げられる。(次頁へ)

**南米の鉱業部門における最大の脅威**

脅威については、政治または法律の不確実性が全体の37%を占め、またカントリーリスクまたは資源ナショナリズムが急増し全体の27%となり、21年に引き続き両者が全体の60%以上を占める結果となった。カントリーリスクまたは資源ナショナリズムの増加は、チリ、ブラジル、メキシコなどにおける税負担の増加や資源国有化の動きを反映している可能性が高い。鉱山会社では、コミュニティ関係のリスクが全体の12%となっており、前年から増加している。ペルーではLas Bambas銅鉱山などでコミュニティによる抗議デモにより操業を一時停止する事象が発生しており、コミュニティや先住民問題がますます重要視されている。

**南米における鉱業への投資環境**



中期的に南米で鉱業の投資環境の良い国 (2021年対2022年)

22年南米における鉱業の投資環境では、中期的にチリが「最も安定」していると評価されているが、前年に対し著しく減少する結果となった。一方、鉱業会社の回答では、チリはブラジルに1位の座を譲り、エクアドルと同率2位の22%だった。チリは、19年にデモと暴動を発端に、新憲法制定を進めるため21年7月から制憲議会を発足し、22年7月に新憲法草案を完成、その是非を問う国民投票が行われる予定。また、22年3月にBoric大統領就任し新政権が発足、22年7月に新

鉱業ロイヤルティ法案を含む税制改革案が発表された。これらの不確実性がチリの減少理由とされる。

他方、全体の12%を集め3位にランクインしたエクアドルは、鉱業会社の支持が大幅に増加しており、政治環境とコミュニティに課題があるにもかかわらず、鉱業投資に対する政府の支援、資源ポテンシャルの高さが主な上昇の要因とされる。

**おわりに**

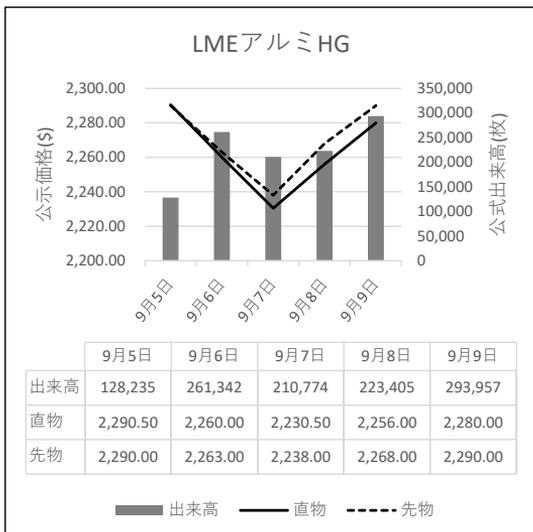
チリは、南米の中で投資環境の良い国として圧倒的の人気を誇っていたが、その構図に変化が生じている。チリでは、新憲法制定や新鉱業ロイヤルティ法案の不透明感が投資判断の鈍化を誘発していると考えられるため、今後の動向に注目が集まる。一方、チリを投資環境の良い国として選んだ各社は、これらの課題を認識したうえで、優れたインフラ、脱炭素化(グリーン水素及びアンモニア事業)を含む資源ポテンシャルがあるとしており、引き続き一定の人気があることも事実である。ブラジルでは、22年10月に大統領選挙が行われる予定で、世論調査の支持率の中間結果では、左派Lula元大統領が一步リード、次いで右派Bolsonaro大統領が追っている。Bolsonaro大統領は、金の違法採掘の合法化を主張しており、また先住民人口に対し先住民保護区の面積が広すぎるとし、資源開発に充てるため先住民保護区は合理的な方法をもってその境界線を見直すべきと主張している。

一方、Lula前大統領は、先住民保護区で商業的農業、鉱業、石油探査を許可する計画に反対しており、また違法採掘を止めることを表明している。大統領選の結果次第では、南米の投資環境の構図が再び変化する可能性がある。

**日刊金属**  
外電配信料  
(税込)

6カ月:46,200円  
12カ月:92,400円

~ LME公式値週間推移 9月5日~9月9日(現地)



# 故銅市況

14日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,026.00ドルより204.00ドル高の8,230.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,079.50ドルより85.25ドル安の7,994.25ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,945.00ドルより150.00ドル高の8,095.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,955.50ドルより87.00ドル安の7,868.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の12月限は、前営業日の361.05セントより5.50セント安の355.55セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の10月限は、前営業日の6万2,280元より880元高の6万3,160元。

14日の東京為替市場TTSレートは、前日の143.54円より1.95円の円安ドル高、1ドル=145.49円。14日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,230.00ドル。この値と14日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の119万円より4万5,000円高の123万5,000円。

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(9月13日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が934~939、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは899~904、並銅は864~874、込銅(高品位=約97%)は854、セバは708~713。コーベルは要り用筋で649、それ以外は634ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋659、それ以外629~639どころの値頃。並青銅鋳物削粉は756~761どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が914~934、上銅新しくずが879~899、普通上銅が854~874、2号銅線が846~866、並銅が844~864、込銅(94-97%)が792、込銅(90-93%)が794、下銅が455~505、セバが673~708、コーベルが589~634、黄銅棒地が584~629、黄銅削粉が579~624、黄銅ラジが544~552、交叉ラジが494~551、黄銅鋳物が491~498、送りが282~301、上青銅鋳物が753~773、並青銅鋳物が733~748、上青銅鋳物削粉が748~768、並青銅鋳物削粉が723~743どころ。

## アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

### 関東地区(9月前半)

2S=220円~240円、63S=204円~255円、アルミホイール(1P)=121円~235円、ビス付サッシ=87円~96円、エンジンコロ=110円~118円、込合金(機械鋳物)=93円~101円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

### 関西地区(9月前半)

2S=202円~205円、63S=205円~240円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=186円~196円、ベースメタル=154円~158円、機械鋳物=96円~99円、ダライ粉=75円~78円、ビス付サッシ=73円~108円、缶プレス=83円~88円。

この日、電気銅建値は121万円に据え置かれた。

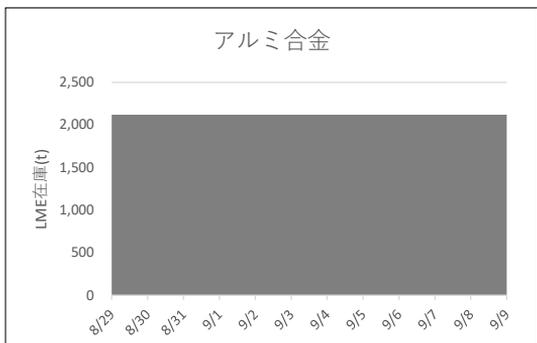
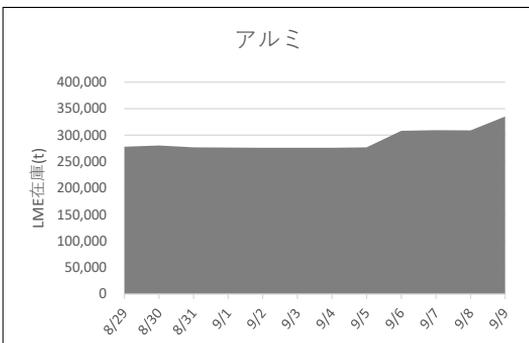
### 為替動向

13日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0120ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0010ドル~1.0020ドルで推移した。米国の8月CPI上昇率が市場予想の8.1%を上回る8.3%となった。前月の8.5%からは下がり2か月連続の減速となったものの依然高い水準が続いている。

13日のニューヨーク外国為替市場で円相場は大幅に続落した。前日と比べ1.80円の円安ドル高、1ドル=144.55円~144.65円で取引を終えた。この日発表された8月のCPIが市場予想を上回った。エネルギー・食品を除くコア指数が6.3%の上昇と7月の5.9%から伸びが拡大、市場予想の6.0%も上回っておりインフレ圧力が想定以上に強いとの受け止めが広がった。

14日早朝の東京外国為替市場でも円相場は大幅に下落した。8時30分、前日17時と比べ2.51円の円安ドル高、1ドル=144.76円~144.78円だった。前日に発表された米国の8月CPIが総合指数、コア指数ともに市場予想を上回る伸びとなりFRBが大幅利上げを続けるとの観測が強まっている。米金利の先高観から円売りドル買いが大きく進んだ。前日の米債券市場では金融政策を反映し易いとされる2年物国債の利回りが一時3.79%と約15年ぶりの高水準を付けた。長期金利も3.4%台まで上昇している。円は対ユーロではほぼ横ばいで推移。同じく0.01円の円高ユーロ安、1ユーロ=144.32円~144.36円だった。

## LME認定倉庫在庫推移 8月29日~9月9日(現地)





LME銅相場は続伸 直物終値は7,994.25ドルに反落  
 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は続伸  
 LME非鉄相場は全面高も午後は軟化の相場も



14日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、9月13日入電の8,026.00ドルより204.00ドル高の8,230.00ドル。7営業日の続伸で8.48%高。この週3.07%の上伸。9月に入って6.59%の上伸。3か月物の前場売値は、9月13日入電の7,945.00ドルより150.00ドル高の8,095.00ドル。4営業日の続伸で5.89%高。この週2.21%の上伸。9月に入って5.12%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地9月12日の10万5,425トンより1,775トン減の10万3,650トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、9月限が、9月13日入電の362.55セントより4.45セント安の358.10セント。4営業日ぶりの反落で1.23%安。この週横ばい。9月に入って1.78%の上伸。10月限は、9月13日入電の362.15セントより4.50セント安の357.65セント。4営業日ぶりの反落で1.24%安。この週0.01%の下落。9月に入って1.63%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、9月限が、連休前9月10日入電の6万3,170元より500元高の6万3,670元。3営業日の続伸で0.79%高。この週0.79%の上伸。9月に入って1.92%の上伸。中心限月に当たる10月限は、連休前9月10日入電の6万2,280元より880元高の6万3,160元。2営業日の続伸で1.41%高。この週1.41%の上伸。9月に入って1.97%の上伸。

**錫は続伸**

LME錫相場の前場売値は、直物が、9月13日入電の2万1,550.00ドルより695.00ドル高の2万2,245.00ドル。2営業日の続伸で4.41%高。この週4.41%の上伸。9月に入って5.74%の下落。3か月物の前場売値は、9月13日入電の2万1,400.00ドルより600.00ドル高の2万2,000.00ドル。2営業日の続伸で3.65%高。この週3.65%の上伸。9月に入って4.45%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地9月12日の4,710トンより75トン増の4,785トン。

**鉛も続伸**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、9月13日入電の1,929.00ドルより27.00ドル高の1,956.00ドル。3営業日の続伸で3.60%高。この週1.98%の上伸。9月に入って0.31%の上伸。3か月物の前場売値は、9月13日入電の1,934.00ドルより31.00ドル高の1,965.00ドル。4営業日の続伸で3.91%高。この週2.10%の上伸。9月に入って0.77%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地9月12日の3万6,750トンより475トン減の3万6,275トン。

**亜鉛も続伸**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、9月13日入電の3,248.00ドルより71.50ドル高の3,319.50ドル。4営業日の続伸で4.68%高。この週3.01%の上伸。9月に入って6.23%の下落。3か月物の前場売値は、9月13日入電の3,228.00ドルより71.00ドル高の3,299.00ドル。4営業日の続伸で5.40%高。この週3.24%の上伸。9月に入って4.52%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地9月12日の7万6,850トンより425トン減の7万6,425トン。

**アルミも続伸 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、9月13日入電の2,288.50ドルより21.00ドル高の2,309.50ドル。4営業日の続伸で3.54%高。この週1.29%の上伸。9月に入って2.49%の下落。3か月物の前場売値は、9月13日入電の2,309.50ドルより17.00ドル高の2,326.50ドル。4営業日の続伸で3.95%高。この週1.59%の上伸。9月に入って1.29%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地9月12日の33万4,375トンより万1,475トン減の33万2,900トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、9月13日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、9月13日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、9月13日入電より横ばいの2,209.00ドル。この週0.63%の下落。9月に入って4.91%の下落。3か月物の前場売値は、9月13日入電より横ばいの2,235.00ドル。この週0.67%の下落。9月に入って3.46%の下落。

**ニッケルは続伸**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、9月13日入電の2万3,325.00ドルより1,330.00ドル高の2万4,655.00ドル。3営業日の続伸で15.21%高。この週11.06%の上伸。9月に入って16.00%の上伸。3か月物の前場売値は、9月13日入電の2万3,320.00ドルより1,430.00ドル高の2万4,750.00ドル。3営業日の続伸で15.63%高。この週10.99%の上伸。9月に入って16.09%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地9月12日の5万3,532トンより132トン減の5万3,400トン。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>  
 PW: nikkin202209

LME公示価格(US\$)／9月13日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,230.00	22,245.00	1,956.00	3,319.50	2,309.50	1,760.00	2,209.00	24,655.00
	前営業日比	204.00	695.00	27.00	71.50	21.00	0.00	0.00	1,330.00
先物	公示価格	8,095.00	22,000.00	1,965.00	3,299.00	2,326.50	1,760.00	2,235.00	24,750.00
	前営業日比	150.00	600.00	31.00	71.00	17.00	0.00	0.00	1,430.00

海外非鉄金属相場

(9月14日 入電・現地 9月13日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 9月限, 10月限, 11月限, 12月限, 1月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キログラム), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 1950.0, 1945.2.

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 353.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 1704.85, 13000, 3.60, etc.

KLTM編(MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, Oレート, M\$/US\$レート, etc. Values: 3.7600, 4.5261.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

非鉄金属製品相場

(9月14日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1520	1465	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1570	1515	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1650	1665	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1640	1665	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1550	1575	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1430	1435	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1485	1480	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1510	1495	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	1440	1435	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	1710	1665	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1270	1290	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1376
〃 0.3ミリ	1300	1320	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2585
黄銅大板2×1×2	1420	1470	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	1740	1770	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	1710	1740	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1040	1110	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	1070	1140	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	1100	1170	白金(グラム)		◆4578	4C×2 168-172
鍛造用	1080	1150	パラジウム(グラム)		◆10917	6C×2 237-243
ネーバル	1180	1250	金(グラム)		◆8739	7C×2 271-278
高力	1180	1250	銀(キログラム)		◆102740	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1445	1470	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 274
黄銅平角線ロール仕上	1645	1680	金属ケイ素(99.99%未満)	470		〃 その他 367.2
黄銅条1.5×100	1265	1305	モリブデン酸化物	3929		フェロシリコン55%以上 344
リン青銅板一般用1.0ミリ	2520	2710	タンタル	62949		フェロクロム4%以上炭素含有 317.3
〃 バネ用0.3ミリ	2770	2970	マグネシウム	574		フェロモリブデン純分60%以上 4007
リン青銅棒25ミリ	2680	2890	コバルト	11130		フェロバナジウム 4218
リン青銅線3ミリ	2980	3190	インジウム	29633		フェロニッケル33%未満 995.7
洋白板一般用1.0ミリ	3530	3680				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3700	3860				

減摩合金	9月1日改定	銅合金地金	9月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4525	BC 1種	1215
2種	4400	2種	1535
3種	4270	3種	1615
4種	3760	6種	1295
5種	3595	7種	1425
7種	1320	YBSC 3種	1095
8種	1165	LBC 3種	1560
9種	995	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(9月14日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1号銅線	1075	1073	電 気 銅	◆ 1161	◆ 1156	◆ 1163	◆ 1158	山元建値	電気銅	1210(13)	金	7,932(14)
2号銅線	1033	—	電 気 亜 鉛	476	470	476	470	( ) 実施日	電気鉛	342(14)	銀	91,190(14)
上銅(新切)	1046	1041	蒸 留 亜 鉛	464	458	464	458		電気亜鉛	505(12)	錫(99.99%)	4,450(7)
雑ナゲット	905	903	再生ダイカスト亜鉛2種	382	376	382	376					
並銅	988	972	再生亜鉛(98%)	331	325	331	325					
下銅	969	943	電 気 鉛	◎ 314	◎ 311	◎ 314	◎ 311					
銅削粉	963	946	再 生 鉛 1 号	◎ 297	◎ 287	◎ 294	◎ 289					
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	◎ 302	◎ 298	◎ 299	◎ 295					
新切黄銅セバ	843	839	錫 1 号	3300	3250	3300	3250					
コーペル	806	797	ア ン チ モ ン	2000	1950	2000	1950					
黄銅棒地	799	785	ニッケル(メッキ用)	◎ 3300	◎ 3250	◎ 3300	◎ 3250					
黄銅削粉	788	781	コ バ ル ト	8900	8600	8900	8600					
並黄銅	675	655	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900					
黄銅ラジエター	615	601	ビ ス マ ス	1450	1350	1450	1350					
交叉ラジエター	623	606	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550					
黄銅鑄物	680	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	500	480	500	480					
山送り(55%)	370	—	アルミ地金99.70%	◎ 377	◎ 373	◎ 379	◎ 375					
上青銅鑄物	851	—	アルミ二次地金99%	305	300	305	300					
並青銅鑄物	849	838	〃 90%	263	258	263	258					
上青銅鑄物削粉	844	—	アルミ二次合金ADC12	417	412	420	415					
並青銅鑄物削粉	834	823	鑄物用C2BS	442	437	444	439					
新切リン青銅(伸銅)	—	1082	青銅合金地金3種	1660	1650	1680	1670					
〃 (鑄物)	965	—	〃 6種	1350	1340	1370	1360					
リン青銅削粉	883	876	ハ ン ダ 錫 60 %	3010	2970	3030	3000					
新切洋白(電子材)	895	883	〃 50 %	2600	2550	2620	2590					
新切亜鉛	253	253	〃 40 %	2250	2190	2205	2175					
ダイカストくず	218	218	減摩合金2種	4370	4340	4375	4345					
亜鉛ドロス	196	207	〃 4種	3715	3690	3720	3690					
上鉛	◎ 142	◎ 140	〃 7種	1250	1200	1250	1200					
電池素鉛ケース込	25	25	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		75	75					
活字鉛	◎ 127	◎ 124		〃 ダライ粉		60	60					
新切アルミ1級	242	244		高耐食ステンレスSUS316		210	210					
新切サッシ1級	242	242		耐熱ステンレスSUS310		365	365					
新切合金1級	227	222		13クローム 新切		21	24					
機械鑄物1級	155	162		ハイス 9種	◆ 205	◆ 205	◆ 205					
ビス付サッシP	183	180										
合金削粉P	100	105										
込ガラP	95	97										
カン・バラ	160	161										

非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202209